

嘉念坊善俊上人 750回忌に向けて

■嘉念坊善俊上人の法要

弘安5年(1282)3月3日、嘉念坊善俊上人はお亡くなりになられた。上人の年忌法要の記録は以下の通りである。

- ◆500回忌 寛政元年(1789)2月 『高山別院史』下巻『岷江記』では、寛政8年(1796)2月30日
- ◆550回忌 天保5年(1834)2月27日～28日
- ◆600回忌 明治3年(1870)
- ◆650回忌 昭和8年(1933)4月26日～28日
- ◆700回忌 昭和42年(1967)5月1日～5日

昭和42年、宗祖700回忌法要が厳修され、諸法要も併修された。その法要の中に、嘉念坊上人700回忌並びに佐奈姫350回忌も含まれている。750回忌の御正当は、令和13年(2031)となる。法要執行の期日は未定。

■飛騨真宗発祥700年 飛騨御坊創建400年 記念法要

昭和60年(1985)11月1日～2日

上記法要は、山門・鐘楼堂の完成により、御坊別院の伽藍が整ったことを記念するものであったが、内実は善俊上人を顕彰する意味合いが濃厚であった。種々の催事が1年間を通して執り行われた。

昭和52年～53年頃、仏教青年会が岩井正尾先生に飛騨の真宗史を学ぶことから始まり、そのうち岩井先生のほうに火が付き、結果、『高山別院史』上巻・下巻・資料編を出版するまでになった。

法要(11月1日～2日)日程内容については略すが、一年を通じて行われた催事を以下記す。

嘉念坊上人講座(2月～10月、各組巡回)

講師:岩井正尾氏

嘉念坊善俊上人石碑建立

石碑碑下にタイムカプセル格納

仏教音楽の夕べ 荒川少年少女合唱団

書道展(成人・児童) 子ども大会劇団ブーク

御坊展

中国杭州歌舞団

生花展(池坊遠州流・末生流)協賛

各催事に実行委員会を結成して実施開催され、別院や近隣寺院、市文化会館が会場となった。



飛騨真宗発祥700年・飛騨御坊創建400年記念法要 行事案内

■石碑建立を機に、「嘉念坊上人顕彰会」発足

上人の石碑を建立を機に、翌年には上人の顕彰会が立ち上げられ活動を開始した。有志会員は年会費千円で、毎年3月3日の上人祥月命日に集う。現在は、総会・法要・記念講演を行っている。当初は、各寺院の賛同を得て多くの会員を有した。別院文化講座(御坊文化講座)として年3回講座を開講した。

顕彰会の財力を利用し、嘉念坊上人の絵伝を制作し、平成7年(1995)の総会で、「絵伝」二幅と「上人肖像画」一幅が完成し披露された。3年後には絵伝の解説本『飛騨御坊照蓮寺縁起』(解説は三

本昌之氏)が出版された。また、顕彰会発足当初より、年1回の「嘉念坊上人御旧跡巡りの旅」を行ってきた。

顕彰会は昭和60年に発足し、再来年には40周年を迎えようとしている。初代顕彰会会長の平田吉郎氏をはじめ、多くの会員が亡くなられた。また、三本昌之先生も亡くなられ、顕彰会の活動も下火となり現在に至っている。

嘉念坊善俊上人の750回忌が、7年後の令和13年(2031)に御正当となる。この前後に法要を企画厳修するためには、新しく顕彰会組織の再編成をする必要がある。今後、善俊上人顕彰、すなわち飛騨真宗の土壌の育成と相続は、必然的に顕彰会が担うべきと考えるからである。

■顕彰会新役員の発表

＜顕彰会四役＞

会長	三島多聞	庶務	石井 宗
副会長	三枝正尚	会計	倉田真奈美

＜各組代表役員＞

1組	伊達俊幸	2組	平野素淨
吉城組	三島見らん	清見組	佐藤義晃
益田組	江馬雅臣	朝高組	白尾 匡
荘白川組	前田法俊		

■当面の企画展望

- ①顕彰会会則の見直し
- ②新講座の開設
- ③「ご回壇」拝読文の改正
(嘉念坊上人750回忌記念事業)
- ④「聚霊閣」(御骨堂)の修復事業
- ⑤『飛騨御坊照蓮寺の歴史』(仮)改訂版の出版
- ⑥『顕彰会の歴史』出版

飛騨御坊真宗教化センター長
高山別院輪番 三島多聞



★センター・別院からのお知らせ★

第16回 全飛組門徒会研修会 100人超えの仏具磨き

本年3月に組門徒会員の改選がなされ、高山地区では第2回目の組門徒会研修会を7カ組合同で実施することを合わせて、第16回全飛組門徒会研修会が、去10月23日(水)に開催されました。今回の開催では、組門徒会員91人、寺族及びスタッフを加え合計125人の参加をいただきました。

今回は、研修テーマとして「宗派の財政」について宗議会議員の内記浄師からお話いただき、引き続き、別院の仏具磨きが行われました。お磨きでは、各組に分かれ、円になり、磨き粉をつける人、ブラシ等でこすって汚れを落とす人、磨き粉をタオルでふき取る人、新聞紙で仕上げ拭きをする人と、幾つかのパートに分かれ作業をしました。皆さん一生懸命で、仕上がりを見て感激していました。



皆さん一生懸命で、仕上がりを見て感激していました。

高山別院報恩講厳修 御礼

高山別院報恩講厳修につきましては、公私ともご多忙の中ご協力、誠に有難うございました。

多くの方々に、準備、当日、後片付けについてご協力を賜り、今年は荒天の中でしたが、安心して報恩講が進行でき、ご参拝いただきました皆さまにも感動のある報恩講が勤まったことに、心より感謝申し上げます。

今後とも別院とご門徒の皆さん、地域が一体となった報恩講仏事のすばらしさと、報恩講の願いとしている「報恩講がつとまる人づくり」の発信ができるよう進めて参りたいと考えています。

皆様方には、引き続きのご支援、ご指導賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



真宗公開講座 12月18日 午後2時～

テーマ「聞(もん)・問(もん)・開(かい)という歩み」 乾 文雄氏(大谷中学・高等学校長)

飛騨御坊 HP『ひだご坊一口法話』12月

三島 見らん氏(吉城組西念寺住職)・細川 清美氏(吉城組浄慶寺衆徒)

企画会議懇談会 各組まとめ④ 高山 1 組

高山 1 組 実施日：2024 年 7 月 18 日（木） 午後 2 時～
会 場：高山別院会館研修室

◆**嘉念坊教室**…今年度から開催（年 3 回）、真宗文化を伝える担い手を育成する。2 年に 1 度、親鸞教室と交互に開催したい。センターや別院ができないことをやる。その一つが嘉念坊教室。継続していきたい。

◆**親鸞教室**…バス代の高騰、参加者の減少などで 2 年に 1 回の開催。親鸞教室自体が困難な状態。前期教習だけでも良いようにしていく考えがある。高齢化や後期教習の費用の問題。

◆**親鸞教室を受講し推進員となってもお寺で活動の場がない**。その受け皿となったのが**一組真宗の会**。そういう意味ではアフターケアは始まっている。

◆**一組真宗の会(親鸞教室の修了者)**…独自の運営体制をもって活動している。それだけの活動するパワーを持っている。門徒さん主体で能動的に動いている。別院報恩講のお手伝いをされたり、年 2 回、センターの公開講座を担当している。

◆**帰敬式法座**…実際やってみて、帰敬式法座を受けた方が、親鸞教室を受けてもらえる入り口のように感じる。

◆**ご回壇**は、他組と違い別院と距離が近いため、出向く教化という特別感がない。

◆他に **同朋唱和**…真宗公開講座と協賛し同朋唱和の練習。／**同朋の会結成状況**…11 カ寺中 10 カ寺。婦人会 1 カ寺。／**坊守会・婦人門徒を対象にした朋友会**。／**仏教讃歌をうたう会**もある。／**青少幼年教化**…ラジオ体操後に夏休みお勤め練習会。組内寺院子ども会結成は 3 カ寺。複数の寺院による共同

開催、周辺に子どもがいない。初まいり式をセンター事業に移動。／**組門徒会研修**…2022 年度 1 組独自で慶讃法要のお待ち受け大会として開催。また、お内仏のお給仕をテーマに開催。／**帰敬式法座**…帰敬式の前に講座を開催。／◆**施設訪問**…1 カ所再開、2 カ所休止中。

◆1 組は**別院**の影響が大きい。我々は別院をいい意味で利用してきている。

◆各お寺の距離が近いので組がまとまりやすい。

◆同朋会を行っているが、住職の個人的な繋がりで来てくださる。門徒の所在地がバラバラで、地域で人集めは困難。若い世代は郊外に家を建てて別居。新しい家にはお内仏もない。そういうところは 1 組が一番顕著。

◆お寺にまで来てくださる方が、高齢化で車の運転が困難。若い人は関心がない。葬儀を見ても家族葬が多い。しかし、新聞折り込みなどでご坊様の行事があると「みんなでいくぞ」という方も多い。

◆別院まわり（西地区）は、高齢者の比率でいうと限界集落。うちの班は 33 名中 18 名が 75 歳以上。空き家だらけで、地域の空洞化は切実。

◆スタッフの育成を組で担うのが困難、良い考えはないか。→ 1 組はセンターの幹事や副幹事が多く、そういったところを各部会の事業計画の中で考えている。それ以上（各組のこと）を求められてもきついと思う。

◆組の役だけでなく、センターの役、仏教会の役など、みんないくつもの役を兼ねている。

◆息子さんが名古屋で結婚し住居をかまえ、小さいお内仏を持つことになった。九州でご本尊の手渡し運動があったが、そういう取り組みがあってもよい。

◆半永久的に 7 カ組じゃなくて、組の改編を考える必要もあるかと思う。

各組企画懇談会を終えて ―発信と受信の往復運動を願う― 教区駐在教導 中川唯真

去る 3 月～7 月に各組協力のもと、企画会議による高山地区全組に出向いての懇談会が開催されました。これは企画会議、旭野座長の発案による教化の現場の状況を見て、聞き、感じるにより、「センターと現場とのズレ」の根拠を確かめ、「各組とセンターの連携」を今後より強化していくことを願って実施されたものです。

代表者少人数でじっくり話し合いをした組もあれば、各寺の住職、坊守、門徒がそれぞれ出席し広く意見を聞けた組もありました。また開催日時は各組の都合を聞き調整して設定しましたが、夜間開催や土日開催の組も多く、センター事業を推進していく上で、配慮すべき点と考えさせられました。何より多くの組において、寺院等にて参加者が車座で語り合えたことが良かったと感じています。開催にあたっては会場や段取りも含め、各組にご協力をいただいたことに御礼を申し上げます。

出向くことによって見えてきた組の特徴や課題があります。例えば、組の広域さ、過疎等の難しさを抱えている中で、組としての帰敬式受式や親鸞教室の今後を考えている組や、夏休み、朝のラジオ体操のお勤め会で練習した正信偈を、各寺報恩講の場で発表する機会がある寺院が存在する組など、定例の形式だった会議では聞けないことを耳にしました。また集まった中で、参加者から活発に意見が出にくい組もあり、センターとの連携もそうですが、日ごろからの組内の住職・門徒の連携、雰囲気づくりについて考えさせられる組もありました。

各組でのセンター長(輪番)挨拶でもありましたが、各寺の方々に、この『センターだより』を毎月しっかりと読んでいただきたい。「センターからまた言われているな」と思うのではなく、受信していただいて発信する。読んでいただいた反応をセンターにお寄せいただければと思います。紙面だけに限らず懇談会でそうであったように、直接会うことも含め、この往復運動をもってセンターと各組と意思疎通を図っていきたいという切なる願いがあります。

各組から出てきた課題については、現在企画会議で課題を抽出し精査、対応の検討が始まっています。正副座長との協議でも、兼業寺院と専業寺院や、都市部と都市部以外の対話の必要性。IT ツールの活用。飛騨地区の各組に応じた教化環境・情勢の資料作成など多岐にわたります。過疎など自治体レベルでも対応が難しいところは、同じようにセンターでの対応も難しい。しかし、何らかの知恵を出さなければならない。また、それぞれの課題については優先順位を付けながら、順次取り組んでいけるように進めていきたいと話されています。

飛騨御坊真宗教化センターは、今この記事を読んでいるあなたからの発信をお待ちしています。また、待つだけでなく各組懇談会の成果を鑑み、時期を見て、改めて各組に出向いて語り合う機会を作っていくことを検討することも考えられています。



来月号からは、青少幼年教化で展開されている事業についてご紹介してまいります。また、来年戦後 80 年を迎えることから、来月号から 1 年間、不定期で寄稿リレーをいたします。

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2024 年 12 月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会 場
1	日			
2	月	15:00	㊦ 正副座長会	ミーティングルーム
3	火	13:00 14:00	別 3 日の御坊 法話:白尾 匡氏（長圓寺住職） 教 解放推進協議会輪読会	本堂 研修室
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月			
10	火		教 岐阜別院報恩講団体参拝	
11	水	13:00	別 大谷婦人会定例 法話：三島 多聞氏（輪番）	御坊会館
12	木	19:00	組 高山 2 組親鸞教室①	御坊会館
13	金	7:00 15:30	別 前住上人ご命日 教 両地区育成部会正副幹事会	本堂 WEB
14	土	17:00	㊦ 帰敬式推進室 第 2 回実行委員会	研修室
15	日	7:00 13:00	別 半日華 別 納骨経	本堂
16	月	13:30	組 高山 2 組坊守会	研修室
17	火			

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会 場
18	水	14:00	㊦ 真宗公開講座③（講師:乾 文雄氏）	御坊会館
19	木	13:30 16:00	組 高山 2 組組会 教 教化研究所	研修室 研修室
20	金			
21	土	13:00	別 おすす払い	
22	日	13:00	別 松すべき	
23	月	19:00	組 高山 2 組親鸞教室②	御坊会館
24	火			
25	水	15:15	組 高山 1 組末日会	研修室
26	木			
27	金	13:00	別 お逮夜	本堂
28	土	7:00 13:00	別 一日華 別 親鸞聖人御命日 法話:石井 宗氏（西教寺住職） 教 教務所・教務支所 年末年始事務休暇（～1/6 まで）	本堂
29	日			
30	月			
31	火	23:00	別 万灯会	

2025 年 1 月 ※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
1～3			別 修正会	9	木	13:30	岐阜高山両地区同推協会議
7	火	19:00	組 高山 2 組親鸞教室③	15	水	19:00	組 高山 2 組親鸞教室④